

平成 27 年度 第 2 回中頓別町総合教育会議 議事録（要点筆記）

1 日時 平成 28 年 1 月 22 日（月）
開会 15 時 45 分 閉会 16 時 20 分

2 会場 中頓別町役場 会議室

3 出席状況

出席者 中頓別町長 小林 生吉
中頓別町教育委員会
教育長 田邊 彰宏
職務代理 石井 英正
委員 木内 彰
村田華奈子

（事務局関係）

総務課長	遠藤 義一
総務課総務グループ主幹	野露みゆき
教育委員会事務局 教育次長	青木 彰

4 協議事項 (1) 中頓別町教育大綱(案)について
(2) 町長と教育委員会委員の意見交換

5 議事の概要

○開会

○中頓別町長あいさつ

第 2 回目の総合教育会議につきましては、中頓別町教育大綱(案)について協議いただきたくよろしくお願いたします。

○協議事項

(1) 中頓別町教育大綱(案)について（事務局説明【中頓別町教育大綱(案 3)】）

* 中頓別町教育大綱(案)について教育長より使用を読み上げ説明。

○議長（町長）

ただいま、教育長から大綱の案について説明をいただいたわけではありますが、これより皆様方から質問や御意見があれば、お伺いしたいと存じます。

○石井委員

生涯教育について、今後内容の充実が必要かと思うが、今回のこの 4 本柱でちょうど良い内容ではないかと思えます。

○村田委員

この大綱に基づいて、子どもたちのためにとって何が良いのかという取り組みをしていただきたいと思います。

○木内委員

保幼小中連携については、是非人口減少・少子化というピンチをチャンスに繋げてさら

に進展させていただきたいと思っています。特徴ある成人式についても、期待したいと思っています。

○議長（町長）

教育長にお聞きしますが、この大綱についてあえて他市町村との比較をするとどうか。

○教育長

国内・道内見回しますと10ページ以上からなるものから1~2ページの簡略なものまでいろいろありますが、この大綱についてはシンプルな構成になっており、柱1のICT機器の活用とアクティブラーニングの充実がこの大綱の特徴的な点とっております。

○議長（町長）

きわめて実践的な大綱で、大切に実践していきたいと思います。柱2の信頼される学校の構築で具体的にイメージしているものはありますか。

○教育長

コミュニティスクールと義務教育学校をイメージしております。

<町長・教育長・教育委員一同> 中頓別町教育大綱案について同意・決定。

(2) 町長と教育委員会委員の意見交換

○議長（町長）

前段の教育委員会議での懇談の内容について概略をお聞かせ願えますか。

○教育長

教育施設について以下について意見交換をいたしました。

・小学校、中学校、給食センター、寿スキー場、町民センター、郷土資料館等の施設における改修等について

□小学校では、築後25年以上を経過しこの間に一度も大規模改修を行っていない。外壁もクラックが目立つようになってきている。ボイラーも25年以上交換していないのでとても厳しい状況にある。

□中学校についても、当初、私自身「改築」との考えで、耐力度調査や耐震調査を実施した。調査結果から耐力度が基準を満たしていない。耐震力については、0.67と基準を満たしていない。しかし、道担当者からは「国土交通省の基準は0.6」であり、この基準を満たしていることと、中頓別は地震が少ないことから文科省の基準0.7に0.9を掛け0.63であり、基準を超えていることから「改築」との考えを一次置いておくこととしたい。

・では、中学校をどうするのか。現校長とも話をしたが、当面、廊下がとても寒いのでまずは「防寒対策」が一番優先順位。

□給食センターについても今後どうするか。

※小学校、中学校との10年は何とか持つのかな。その段階でどうするのか。道の担当者とも話をしたが「小学校と統合するときには補助金は対象となる」。

・では、どこに持ってくるのか。小学校に中学校を持ってきて校舎を一つにして、小中一貫校とし、その中に給食センター機能を持っていくことが、町にとって将来を考えた時に望ましいのでは。今の中学校には申し訳ないがあまりお金を掛けず行く方が良いとの考えでいる。

□コミュニティスクールについては、学校運営協議会が必要となる。この協議会は先生・地域・保護者で組織し、月に1回会議を開催。それぞれができることに対す

る意見を出すことにより、地域の方々が学校に関わっていくもの。現在、このコミュニティースクールを行っているところは少ない。白糠町・知内町。

- ・この取り組みのメリットは、地域の方が学校に入ってきていることから、学校の状況が見える。これにより、苦情の電話がほとんどない。
- ・このコミュニティースクール、義務教育学校がつながっていくと中頓別町の教育というものが、地域の方が学校に関わるが増えることから、生涯学習の推進にもつながっていくことになる。

○石井議員

中学校の建替えの問題について、先を見据えると、小中一緒にとという考えもあったので教育長の話でなるほどと思った。

○村田委員

コミュニティースクールと義務教育学校いずれも、地域に協力してくれる人がいるのか、それを誰が発信するのが不安要素だが、それができたらとても良い取り組みだと思う。

○木内委員

今まで中学校の建替えのことしか見ていなかったが、先のことを考えると教育長の考え方は合理的な考え方だと思う。

○議長（町長）

教育関係施設については、基本的に教育関係者の合意形成が重要。今後もこの種の話をも深めてまとめていただきたい。

ある町では、今、学校などの施設整備を急いでいる。財政は厳しいが「過疎債」により元利償還金の7割を国が負担してくれるというもの。この制度が無くなるかも知れない。無くなれば、今後、公共施設の整備について厳しい状況になる。施設整備は、実施できるのであれば、あまり先送りせず実施することが望ましい。

○議長（町長）

今後の総合教育会議については今後も、一定の間隔で開催しこのような懇談の場を設けていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。

<町長・教育長・教育委員一同> 今後の進め方について異議なし。

○閉会

議事録署名人

議事録署名人